



福島幸平

「surfaces」 at museum shop T

赤羽佑樹

「cognition」 at shuue

2018.4.14 sat - 4.29 sun

※作家は毎週土曜日に在廊します。

※会場により定休日が異なりますので、ご注意ください。

【ギャラリートーク】

福島幸平 × 赤羽佑樹 × 原田環 (Cawaii Factory/True Ring)

日時：4月28日[土]18時00分-19時30分

参加費：1,000円(1ドリンク付)

定員：20名(予約優先)

会場：museum shop T

ご予約はメールにて承ります。件名に「トークショー参加希望」、本文にお名前・電話番号・人数をご記入の上、info@t-museumshop.comまでお送りください。折り返しメールをお送りします。

museum shop Tではこの度、2018年4月14日[土]から4月29日[日]まで、museum shop Tとshuueの2会場を使った、2人の写真家による展示を企画開催いたします。

—
museum shop Tでは、福島幸平が2014年から制作している《maps》に加えて、2017年から制作をはじめた新作《images》を発表します。

福島幸平の代表的な作品の一つに、モノトーンで構成される山水画など日本の伝統から影響を受けた《山水》などがあります。一方、《maps》は地図検索エンジンの読み込み遅延による、偶発的な描画を利用したシリーズです。現実と現代テクノロジーの中の事象、一瞬だけ離れたテーマに見えますが、アプリケーションにより拡張され映し出された、“私たちの生活の中に入り込む、現実によく似た何か”からは作家の主なテーマである、「目には映らないものを具現化させること」が伺えます。

—
shuueでは、赤羽佑樹《cognition》の展示となります。

赤羽佑樹は2014年から取り組む《Uncertain Objects》で、「付箋」を撮影し、それをプリントし見るもののスケールを狂わせることにより、「付箋ではないなにか」に見せるシリーズを発表しました。2017年に発表された《resolution / reproduction》では、さらに「見る」という行為や現象に着目し、その撮影対象は「光」そのものへと変化しました。空間に描かれることによって現れた光の痕跡は、絵画的でありながら強い建築的なイメージを感じます。

—
私たちが何気なく行っている「見る」という無意識の行為に着目した、2人の作家のレンズやモニターを通した作品たち。「見えないもの」と「見えるもの」は一体どこにその違いがあるのでしょうか。ぜひご高覧ください。

exhibition

artist

region

06

福嶋幸平

国立市(東京)

1989年東京都生まれ。横浜美術大学卒業。現代における芸術写真の在り方を模索し、様々なメディアを横断して制作に取り組んでいる。作家の主なテーマは「眼には映らないものを具現化させること」であり、近年では地図アプリケーションのノイズを用いた作品を制作。メディアにより拡張された日常風景を独自の視点で捉える事で、新たな風景写真を生み出している。主な受賞に2017年「第20回 岡本太郎現代芸術賞」入選や2017年「第6回 都美セレクション」入選、2017年「横浜美術大学学長表彰」優秀賞 等がある。

地域の文化と本のあるお店 museum shop T

国立市東1-15-18 白野ビル3F 12:00-19:00(月曜定休)

tel: 042-505-9587 mail: info@t-museumshop.com

Instagram: @T_museumshop www.t-museumshop.com

shuuue

東京都国立市東1-20-8

OPEN: 12:00-19:00(会期中 月・火曜休)

mail: info@shuuue.net

twitter: _shuuue http://shuuue.net/

exhibition

artist

region

06

赤羽佑樹

国分寺市(東京)

1987年栃木県生まれ。東京都在住。武蔵野美術大学芸術文化学科卒業後、同大学大学院修士課程写真コース修了。写真を通して「見ること/認識することとは何か」を主題として制作。近年の主な展示に、個展「resolution / reproduction」(tokyoarts gallery、2017年)「10人の現代美術作家×平野啓一郎 作品展」(渋谷ヒカリエ8/、2016年)、個展「Uncertain Objects」(tokyoarts gallery、2015年)、など。2012年 EINSTEIN PHOTO COMPETITION X Vol.2 TOKYO CULTUART by BEAMS賞を受賞。2009年/2007年には日本写真家協会展にて22歳以下優秀作品に選出。

